



～更別村のWell-being指標の活用について～

北海道更別村企画政策課
更別村スーパービレッジ推進室

1. 更別村の現状

- 日高山脈の東側、北海道・十勝地方の中南部に位置
- 北は十勝の中心市・帯広市に隣接している
- 帯広市まで車で約40分。とち帯広空港まで約10分

- 総面積176,90km²。多くは平坦な土地
- 総面積のうち、耕地面積が125,73km²（約71%）
- 山林11,19km²、原野・雑種地7,61km²など

- 2022年4月末現在の人口は3,170人、世帯数は1,368世帯
- うち農家戸数は約220戸

- 冷涼で寒暖の差が大きい更別村は、農業に最適で、広大な土地を生かした大規模農業は、農家一戸当たりの経営面積が約50ha、トラクター所有台数は約6台。いずれも**日本最大規模**

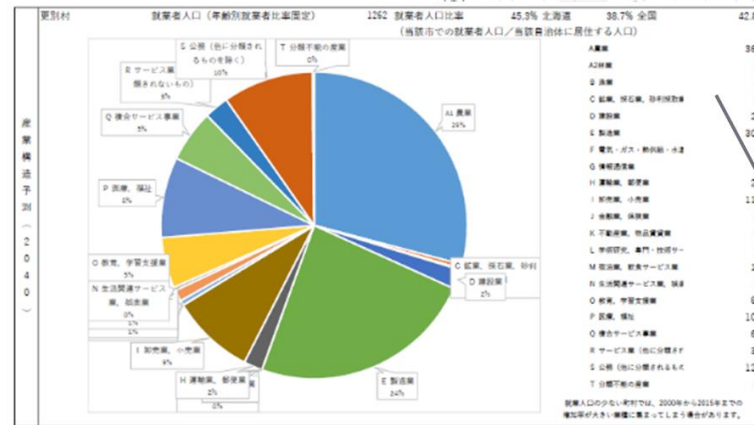
- 主要作物：小麦、てん菜（砂糖大根）、豆類、ジャガイモ、生乳等
- 食糧自給率6,800%

- 豊かな農村地域のイメージ
- チャレンジする農村のイメージ



人口減少に伴う産業人口予測の危機感

※参考
未来カルテより
<http://opossum-jpn.org/>



一次産業の抜粋

	2015年	⇒	2040年
就業	1967人		1262人
農業	847人		367人
林業	17人		6人
漁業	3人		2人

3割自治運営から1割自治運営へ

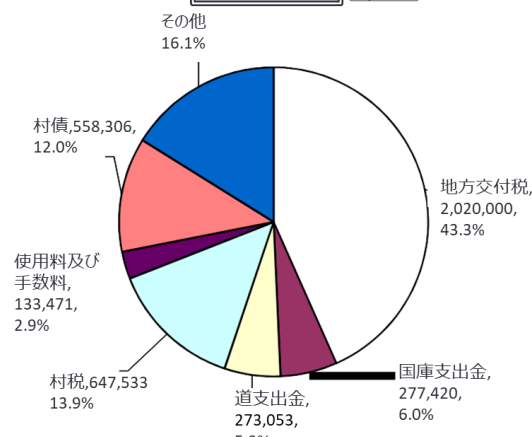
しかし...

そもそも更別村の生活に満足しているのか？

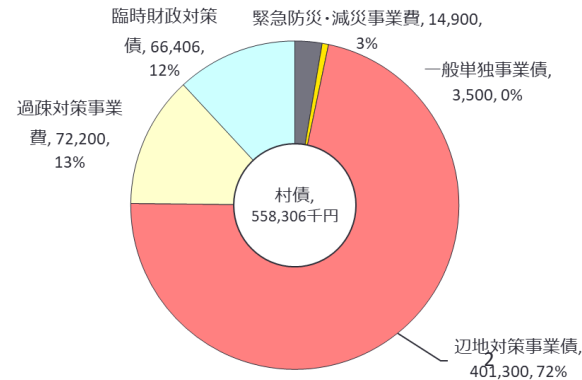
- 農村エリアの地域交通インフラの問題
- 高齢者の買い物の問題
- デジタルの推進や普及に関しての問題

そもそも村を維持できるのか？

R3 一般会計
歳入予算内訳 単位千円



R3 村債内訳 単位千円

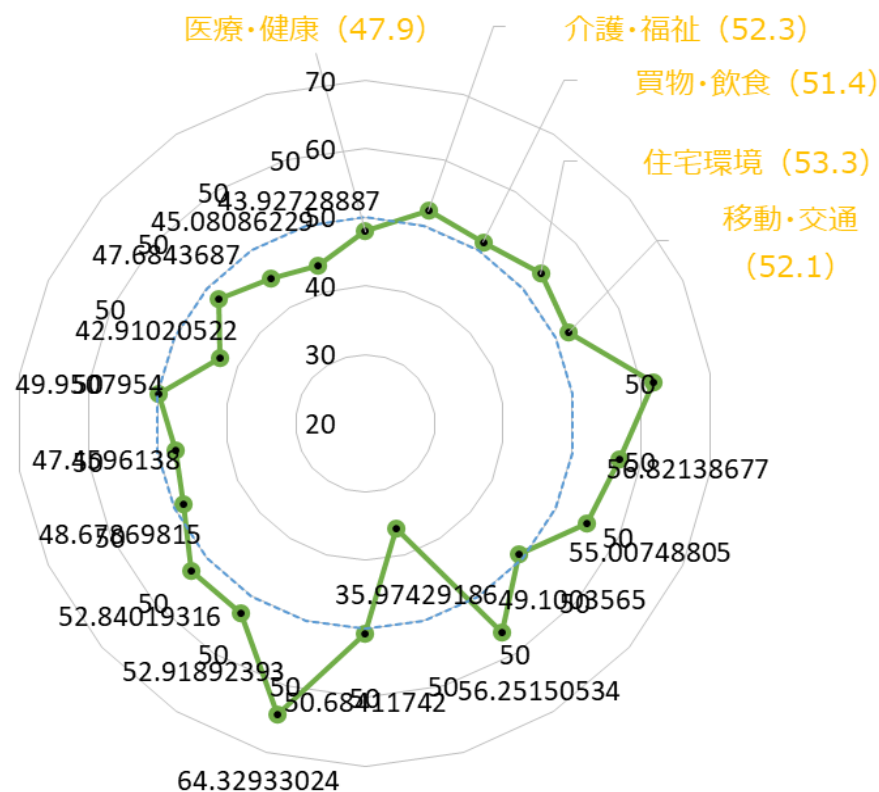
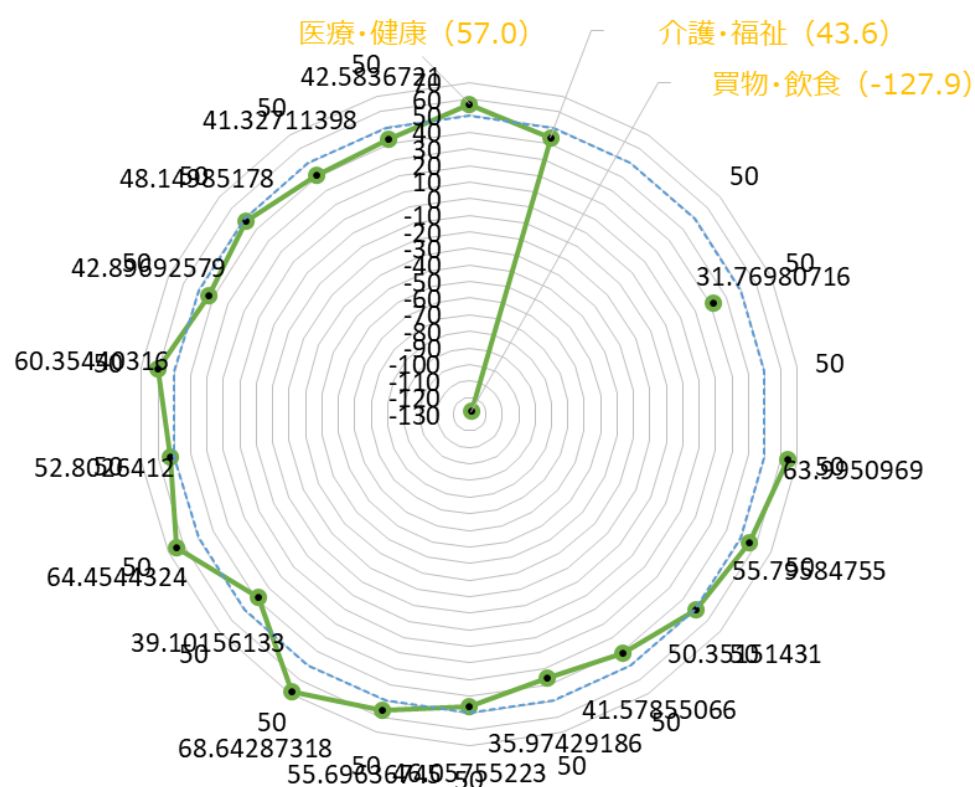


- 村全体がどう進んでいいのか？
- 政策のより優先度の高い部分はどこか？
- 足元の政策が進んでいない？
- 攻めの政策と守りの政策のバランスは？

3. 更別村のWell-being指標

- 更別村
- 医療は平均以上だけど介護福祉はまだ
- 買い物は偏差値 -127.9でどうでしょう！！ 帯広で買い物してます？

- 帯広市（十勝の中核都市）



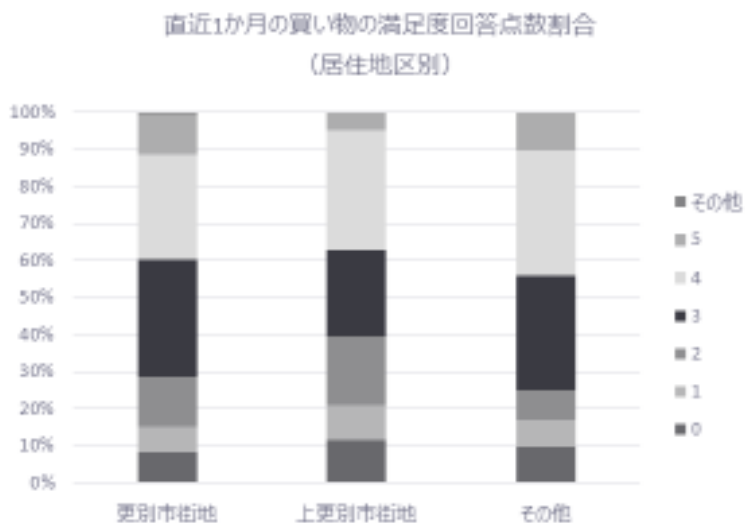
3. 更別村のWell-being指標

3-3. 分析結果サマリ ③生活利便性 買い物に対する満足度

直近一か月の間で買い物に対する満足度の質問の回答は居住地区での大きな違いは見られず、特定地域で買い物の利便性が低いことはないと考えられる

分析結果

- ① 直近一か月の間での買い物に対する満足度の質問の回答は居住地区での大きな違いは見られない（下表の割合参照）。
 ⇒特定地域で買い物の利便性が低いことはないと考えられる



居住地区	アンケート質問の回答点数毎の人数 (人)						
	0	1	2	3	4	5	その他
更別市街地	43	38	69	167	150	56	3
上更別市街地	5	4	8	10	14	2	0
その他	38	27	30	118	130	39	0

- 5 満足
- 4 やや満足
- 3 どちらでもない
- 2 やや不満
- 1 不満

満足度が高い?? 帯広へ行くから?? コンビニもあるし??
 更なる深堀が必要になる

4. まとめ

データを活用した政策立案が普通の時代に入

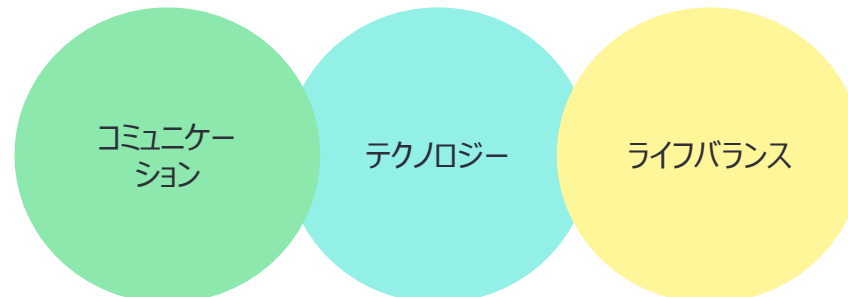
デマンド交通を行っている経費が、住民の幸福度につながっているのか？ → つながっていない？

1,000万円／年の経費とn数で一人当たりのコスト計算 B/C → 数値で村議会議員も納得
もっと効果の高い政策が見つかるかもしれない → データを活用し、サービスの価値向上
総合的にみて幸福度の向上につながる政策へとシフトさせていく → 行政不満改善
結果、政策立案の仕組みを変化させる → 行政改革が進んでいく

政策の判断スピードを上げることで、更別村にいる幸福度を上げていく

継続 拡大 統合 改善 移管 休止 廃止 縮小の判断スピードが上がる

行政最大目的は村民の幸福 コミュニケーション×テクノロジー×ライフバランスの融合をさせたい



そのためには、Well-being指標の活用が必須